

製品名: CYB5R1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09573**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	CYB5R1
別名	CYB5R1; NQO3A2; NADH-cytochrome b5 reductase 1; b5R.1; Humb5R2; NAD(P)H:quinone oxidoreductase type 3 polypeptide A2
遺伝子 ID	51706.0
SwissProt ID	Q9UHQ9
免疫原	抗血清はヒト CYB5R1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 9-58

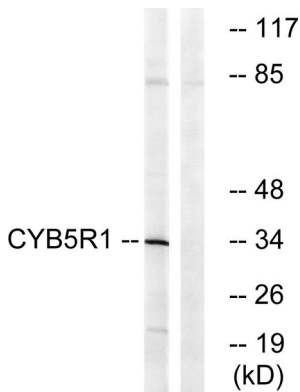
背景触媒活性: $\text{NADH} + 2 \text{フェリシトクロム b5} = \text{NAD}(+) + \text{H}(+) + 2 \text{フェロシトクロム b5}$ 。補因子: FAD。機能: NADH-シトクロム

b5 還元酵素は、脂肪酸の不飽和化と伸長、コレステロール生合成、薬物代謝、および赤血球におけるメトヘモグロビン還元に関与しています。類似性: フラビンタンパク質ピリジヌクレオチドシトクロム還元酵素ファミリーに属します。類似性: 1つのFAD結合FR型ドメインを含みます。組織特異性: 広く発現しています。触媒活性: $\text{NADH} + 2 \text{フェリシトクロム b5} = \text{NAD}(+) + \text{H}(+) + 2 \text{フェロシトクロム b5}$ 。補因子: FAD。機能: NADH-シトクロム b5 還元酵素は、脂肪酸の不飽和化と伸長、コレステロール生合成、薬物代謝、および赤血球におけるメトヘモグロビン還元に関与しています。生合成、薬物代謝、および赤血球におけるメトヘモグロビン還元に関与する。類似性:フラビンタンパク質ピリジヌクレオチドシトクロム還元酵素ファミリーに属する。類似性:FAD結合FR型ドメインを1つ含む。組織特異性:広く発現している。

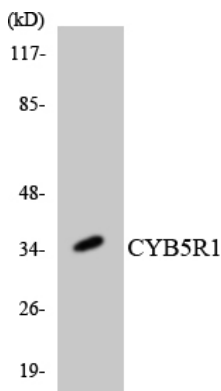
研究分野

アミノ糖およびヌクレオチド糖の代謝

画像データ



CYB5R1 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CYB5R1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。